

令和6年10月1日

乳牛市況情報

(毎月1日現在)

全農酪農部
ホクレン酪農部

《前月の動き》

9月については、猛暑の影響がやや緩和されたものの、厳しい残暑が継続したことにより、都府県における導入需要が伸び悩んだことから、平均価格は436千円（前月比3千円高・前年比2千円高）と、ほぼ横ばいで推移した。

《参考》 9月乳牛専門市場初妊牛取引価格帯

単位：円・頭・%

価格帯	~300,000	~350,000	~400,000	~450,000	~500,000	500,001~	合計
出場頭数	288	486	481	530	498	586	2,869
成立頭数	130	381	394	508	492	580	2,485
取引率	45.1	78.4	81.9	95.8	98.8	99.0	86.6

《今後の動き》

10月については、年明け分娩が出回りの中心となり、残暑が緩和されるなか、暑熱期事故等の代替など一定の更新需要が見込まれることから、相場は強含みで推移することが予想される。

《予想相場》

単位：千円

種別	ランク	極上	上	中
	育成(8~12ヶ月令)		>340	340~300
初妊		>530	530~470	470~410
経産	2~4産	>350	350~300	300~250
	5産以上	250中心		

※予想相場はET移植以外の登録牛を対象としています。